**リスク計画書**

作成日：2024/06/25

1. **プロジェクト名**

フードバンクのイベント知名度向上に向けた開催地告知システム開発プロジェクト

1. **プロジェクト期間**

開始日：2024/04/10

終了日：2024/12/07

1. **全体の方針**

プロジェクトのリスクを軽減・回避し、プロジェクトの効率的な進め方を行うことが目的。報告・連絡を徹底し、確実に防げる認識の違いを無くす。

1. リスクマネジメントの活動

週に最低1回以上グループ内の会議にて、確認を目安として活動を行う。

また、スケジュールに大きく関わるような大きなリスクが発生した場合は、すぐさま会議を行うものとする。

1. **役割と責任**

　　高橋真聡（PM）

　　森大紋（プログラマ）

　　関根主税（プログラマ）

　　川口大輝（デザイナー）

　　井上和将（デザイナー）

1. **評価・対応の方針**

起こってしまったリスクについてはすぐさま現状をグループで会議し、役割を明確にしてリスクの分析を図る。

予想されるリスクについてはあらかじめ対処方法を記載し、すぐさま次の行動に移れるよう対応方法を記載する。

**6.リスク定義**

　 ・リスク発生確率尺度

| 発生確率のレベル | 尺度 |
| --- | --- |
| ほぼ確実に起こる | 5 |
| 起こる可能性が高い | 4 |
| どちらとも言えない | 3 |
| 稀に起こる | 2 |
| 起こる可能性が極めて低い | 1 |

　　・マイナス影響のリスク（脅威）に対するリスク影響度尺度

| 相対的尺度または数値尺度 | | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| リスク影響区分 | 非常に低い  　　 1 | 低い  　　２ | 普通  3 | 高い  4 | 非常に高い  5 |
| コスト | コスト増は  軽微 | コスト増  5％ | コスト増  5～10％ | コスト増  10～20％ | コスト増  20％以上 |
| タイム | 作業時間延  長は軽微 | 作業時間延  長5％未満 | 作業時間延  長5～10％ | 作業時間  延長  10～20％ | 作業時間延  長20％以上 |
| スコープ | スコープ縮  小軽微 | スコープ非  主要部分へ  の影響 | スコープ主  要部分への  影響 | スコープ  縮小を許  容しない | 最終成果物  は実用不可  能 |
| 品質 | 品質劣化は軽  微 | 非常に厳しい用途にのみ影響 | 品質の劣化  に承認が必  要 | 品質の低  下を許容  しない | 最終成果物  は実用不可  能 |

7.発生確率・影響度マトリックス

　　・リスク等級決定基準(発生確率・影響度マトリックス)

| ・赤色・・・リスクの影響度は高い>=15  ・白色・・・リスクの影響度はふつう>=5  ・青色・・・リスクの影響度は低い<5 | | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発生確率↓ | 脅威 | | | | |
| 5 | 5 | 10 | 15 | 20 | 25 |
| 4 | 4 | 8 | 12 | 16 | 20 |
| 3 | 3 | 6 | 9 | 12 | 15 |
| 2 | 2 | 4 | 6 | 8 | 10 |
| 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 影響度→ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

・リスク緊急度

| リスク緊急度尺度 | リスク緊急度 |
| --- | --- |
| 3 | 緊急度が高い(即刻) |
| 2 | 緊急度が普通(1週間以内) |
| 1 | 緊急度が低い(1カ月以内) |

8

8.起こりうるリスク

| フェーズ名 | リスク | 原因 | 発生確率 | 影響度 | 発生確率×影響度 | 対応種別 | 対応 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 計画 | 目的・目標設定ミス | 知識不足 | 3 | 3 | 9 | 受容 | 指摘後再度考え速やかに修正を行う。 |
|  | 企画の中身の変更 | 企画がまとまっていない | 4 | 3 | 12 | 受容 | 適切なストーリーに修正し、グループ内で確認して提出を行う。 |
|  |  | 企画の規模が小さい | 4 | 4 | 16 | 受容 | 新規性などを考慮しつつ修正し、グループ内で確認して提出を行う。 |
|  | 実装出来ない機能の設定 | 機能への調査不足 | 3 | 4 | 12 | 回避 | 機能の調査を深く行う。 |
|  |  | 想定していた言語と使用する言語が違った | 3 | 4 | 12 | 軽減 | 調査し、代替またはそれを工夫し実装出来ないか調査を行う。 |
|  | 書類の不備 | 勘違い・スケジュールの管理ミス | 3 | 2 | 6 | 回避 | スケジュールを適切に調査し、書類の確認をとる。 |
|  |  | 書類に間違えがあった | 3 | 3 | 9 | 受容 | 何がいけなかったのかをPMbok等で調査し修正を行う。 |
|  | 書類作成の遅れ | 勘違い・スケジュールの管理ミス・知識不足 | 3 | 3 | 9 | 回避 | 定例会議で資料作成の進捗状況を確認し、メンバー同士でスケジュール管理を把握する。 |
|  | 企画の破綻 | フードバンクの取り組み廃止 | 1 | 5 | 5 | 受容 | 企画の変更 |
|  |  | 利用ツールのサービス終了 | 1 | 5 | 5 | 受容、軽減 | 類似ツールの調査、企画の変更 |
|  | 情報漏洩 | セキュリティに関する情報の不適切な取り扱い | 1 | 4 | 4 | 回避 | 情報の扱いには細心の注意を払う。 |
|  | 既存システムとの類似 | 調査不足によりクライアントとの類似システムの開発 | 2 | 4 | 8 | 回避 | 事前に調査し、新規性のあるシステムを作成する。 |
|  | 出席人数不足（メンバーが作業をしない） | 業務負担の偏り | ２ | ４ | ８ | 回避 | タスクの再割り振り  定期的なミーティングの開催 |
| 開発 | 企画の破綻 | フードバンクの取り組み廃止 | 1 | 5 | 5 | 受容、軽減 | 企画の変更 |
|  | 運用リスク | システムダウン、サーバーの障害やネットワークの問題によるダウンタイム | 1 | 4 | 4 | 回避 | 複数のサーバーにトラフィックを分散させ、個別のサーバーの負荷を軽減 |
|  | 開発業務の遅れ | 知識不足によるシステム班の遅れ | 3 | 4 | 12 | 受容 | デザイン班の2人が助っ人に回る・スケジュールに余裕がある場合は優先的に助っ人に行く |
|  |  | 知識不足によるデザイン班の遅れ | 3 | 3 | 9 | 受容 | システム班の2人が助っ人に回る・スケジュールに余裕がある場合は優先的に助っ人に行く |
|  | 情報漏洩 | セキュリティに関する情報の不適切な取り扱い | 1 | 4 | 4 | 回避 | 情報の扱いには細心の注意を払う。 |
|  | システム開発ミス | クライアントへの間違った情報の提供 | 1 | 4 | 4 | 回避 | テストを重ね、システムを仕上げる |
|  | 作業の遅れ | Webアプリによって我々がウイルスに感染 | 1 | 4 | 4 | 回避 | 事前にウイルス感染対策ソフトを入れておく。 |
|  |  | 技術不足 | 2 | 3 | 6 | 軽減 | あらかじめ技術習得を行う。  分からない場合はグループ内で質問を行い教えあう。 |
|  |  | データ破損 | 2 | 5 | 10 | 回避 | バックアップを取っておく。 |
|  |  | エラー | 4 | 1 | 4 | 受容 | 原因を調査する。 |
|  | サーバ  ーのダウンタイム | ネットワーク機器の故障、インターネット接続の問題 | 3 | 4 | 12 | 回避 | 定期的にネットワーク機器のファームウェアやソフトウェアアップデートを行う |
|  | API法的リスク | マップデータのライセンス不足 | ３ | ５ | 15 | 回避 | あらかじめライセンスや規約の適用を遵守する |
|  | マップデータの誤った情報を提供 | メンテナンス不足 | ３ | ４ | 12 | 回避 | マップの更新を逐一行う |
|  | ハッキングや情報漏洩 | セキュリティの強化不足 | 3 | ５ | 15 | 回避 | セキュリティ強化や定期的なバックアップを行う |
| 導入 | 計画と評価リスク | サービスの選定や評価が不十分 | ２ | ４ | ８ | 回避 | 詳細な要件分析と複数のサービスプロバイダーの比較を行う |
|  | API選定リスク | 適切なマップAPIの選定が不十分 | ３ | ４ | １２ | 回避 | 複数のマップAPIの機能と料を比較し、要件に最も適したものを選定 |
| 実装 | 総合リスク | マップAPIの統合が困難または非効率 | ３ | ３ | ９ | 回避 | 事前にAPIのドキュメントを詳細に確認し、開発者向けのサポートを利用する |
|  | 契約リスク | 契約条件やSLAの不備 | ３ | ５ | １５ | 回避 | 契約書の詳細なレビューと法的アドバイスを受ける |
|  | 作業の遅れ | 技術不足 | 4 | 5 | 20 | 軽減 | 作業の遅延が発生した場合は他の作業を前倒しして並行作業を行う |
|  |  |  | ４ | ５ | 20 | 回避 | 作業遅延が発生する可能性を事前に察知できるように週次の進捗会議を行う |
| 運用 | データセキュリティリスク | データ漏洩や不正アクセス | ３ | ５ | １５ | 回避 | 強固なセキュリティ対策、定期的なセキュリティ監査、アクセス制御の実施 |
|  | パフォーマンスリスク | サービスの遅延やパフォーマンス低下 | ３ | ５ | １５ | 回避 | パフォーマンスモニタリング、リリースの最適化、スケーラビリティの確保 |
|  | 可用性リスク | サービスのダウンタイムや障害 | ３ | ４ | １２ | 回避 | 冗長構成、負荷分散、監視システムの導入、定期的なメンテナンス |
| メンテナンス | バックアップリスク | バックアップ失敗やデータ消失 | ３ | ５ | １５ | 回避 | 定期的なバックアップの実施とテスト、バックアップポリシーの確立 |
|  | コンプライアンスリスク | 規制や法律の遵守不足 | ３ | ３ | ９ | 回避 | 最新の規制情報の収集と遵守、定期的なコンプライアンスチェック |
|  | アップデートリスク | ソフトウェアやハードウェアの更新による問題 | ３ | ４ | １２ | 回避 | アップデート前にテスト環境での検証を行い、段階的な展開を実施 |
| 終了 | データ移行リスク | 他のサービスへのデータ移行時の問題 | ３ | ３ | ９ | 回避 | 移行計画の策定と事前テスト、データ移行ツールの使用 |
|  | ベンダーロックインリスク | 特定のベンダーからの脱却が困難な場合 | ２ | ３ | ６ | 回避 | オープンスタンダードの採用と多ベンダー戦略の構築 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |